

SDGs/ESGへの取組み

三重県SDGs推進パートナー登録制度の県内企業への普及に向けて

当行は、2021年11月に三重県、東京海上日動火災保険株式会社と「SDGsの推進に係る連携協定」を締結しました。三重県が実施する「三重県SDGs推進パートナー登録制度」を活用して、3者が連携して三重県内の事業者に対してSDGsの普及啓発を図り、地域課題の解決と県内経済の発展を図ることを目的としています。

おもな連携内容は、①SDGsの情報発信および情報共有、②事業者間の情報・意見交換の場づくり、③SDGsの普及啓発、④SDGsの取組みを進める事業者のサポートなどです。

本登録制度は、開始から5か月で510件(2022年3月末時点)の申請があり、想定を大きく上回るペースで推移しています。



金融教育

エコノミクス甲子園

2011年から毎年、認定NPO法人金融知力普及協会と当行の共催で全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の三重大会を開催しています。

本大会は、金融経済情勢の多様化にともない金融知力の普及が必要とされているなか、高校生に楽しみながら、金融経済を学ぶきっかけを提供することを目的としています。

2021年12月に開催された第11回の三重大会は、昨年引き続きオンライン形式で実施されました。三重県内の高校9校から11チーム22名の高校生が参加し、金融知力

を競いました。本大会では見事、津市の高田中・高等学校のチームが優勝し、三重県代表として、2022年2月にオンライン形式による全国大会に出場しました。



体験学習・インターンシップの受け入れ

小学生から大学生まで金融リテラシーの向上をサポートするため、体験学習やインターンシップなどの受け入れを行っています。銀行業務をはじめお金の知識などについての解説、店舗内見学、通帳作成やロビーでの接客などを当行行員とともに体験していただいています。また、学校へ講師として行員を派遣しています。



小学2年生を対象とした体験学習(戸田支店)

地域の環境保全活動

持続可能な循環型社会をめざし、2006年から森林保全活動に取り組んでいます。

百五の森(多気町丹生)で三重県、多気町、NPO法人とともに当行役員や新入行員が林内整備や遊歩道の整備などに取り組んでいます。また、各営業店においてもそれぞれの地域で森の整備活動や、商店街、河川、海岸の清掃活動に取り組んでいます。



森の整備活動(松本支店)

ボランティア活動

ユネスコ「書きそんじハガキ・キャンペーン」、ユニセフ「外国コイン募金」への協力

毎年、三重県ユネスコ連絡協議会が実施している「書きそんじハガキ・キャンペーン」に参加しています。ポストに投函されていない未使用の郵便ハガキや年賀ハガキの回収を行内で呼びかけ、集まったハガキを三重県ユネスコ連絡協議会に届けています。

また、2007年4月から当行の19か店にユニセフ「外国コイン募金」を設置しています。



これらの回収されたハガキや外国コインは、同機関でそれぞれ現金化され、紛争や自然災害、貧困等で苦しむ人々への教育や衛生、栄養、緊急支援などの支援活動に使われています。